

# フッ素樹脂の耐化学薬品性を活用 ゴミ・不純物と戦う高度な配管作業も テイクジャパンにお任せ

テイクジャパン

テイクジャパン（大田区南蒲田、四丸武憲取締役、03・3730・3060）は、2006年3月創業で14年目を迎え、「フッ素樹脂の溶着配管」を主な事業としている。あまり一般的な製品ではないので、初めて耳にされる方もいるかもしれない。

まず、フッ素樹脂は、非粘着性、耐候性、難燃性、高温（200度）に強いことに加え、中でも耐化学薬品性が高く、他のプラスチックと比較して優れた特性を持っている。フライパン表面やマウス底面のコーティング、プリンターなど私たちの生活に身近な製品の中に縁の下の力持ち的な存在として利用されている。ほとんどの化学薬品や溶剤に非常に優れた耐性を示すため、流体を汚染することはない。こうした特性を活かし、化学薬品プラント設備、分析機器、食品や医療用の薬液を通す配管部品には欠かせない素材だ。

現在、同社のメインは「半導体製造装置の配管組立」である。高純度で危険な化学薬品が流れる配管は、高い安全性を保持するためどの部品にも日本の技術力が結集した精緻な装置。この配管組立には、目に見えるような塵芥の混入はもちろん、目に見えないゴミ、大きき0.03mmの不純物と戦うためにクリーンルームで作業を行う。関連企業様や弊社に興味を持たれた方は、気兼ねなくご連絡ください。



クリーンルームで作業にあたる同社スタッフ(中央が四丸武憲取締役)



私たちの身近にも、フッ素樹脂を利用した製品は数多い